

evolution®

www.evolutionpowertools.com

FURY2

Original Instructions



EN

DE

FR

JP

NL

 **EVOLUTION®**

EN

DE

FR

JP

NL

日本語

取扱説明書

目次

English	Page 02
Deutsch	Seite 22
Français	Page 46
日本語	ページ 70
Nederlands	Pagina 92
はじめに	Page 73
メーカー保証	Seite 73
仕様詳細	Page 76
表示・図記号	Pagina 76
振動	Page 73
用途	Page 73
禁止用途	Page 74
本製品を安全に正しくお使いいただくために	Page 76
電氣的安全性	Page 75
屋外で使用する時	Page 76
一般安全規則	Page 76
本製品の使用上のご注意	Page 77
さあ、はじめよう (??基本操作&クリックガイド)	Page 76
開梱	Page 77
各部の名称	Page 77
組立と準備	Page 79
操作方法	Page 84
保守と点検	Page 81
環境負荷軽減のために	Page 82
分解図	Page 84

EN

DE

FR

JP

NL

仕様

項目	
スチール板(軟鋼)- 推突板厚	3mm
正方形角材(ノコ刃角度90度)	120 x 120mm
正方形角材(ノコ刃角度45度)	89 x 89mm
長方形角材(ノコ刃角度90度)	95 x 180mm
長方形角材(ノコ刃角度45度)	89 x 110mm
丸パイプ(ノコ刃角度90度)	130mm
丸パイプ(ノコ刃角度45度)	105mm
切断能力/モーター	
モーター消費電力(100V 50/60Hz)	1450W
無負荷速度	1450min ⁻¹
質量	25kg
万能切断チップソウ寸法	
外径	355mm
穴径	25.4mm
歯数	36
刃厚	2.2mm
騒音および振動データ	
音圧 LPA	108dB(A) K=3dB(A)
振動レベル	1.39 m/s ² K = 1.5 m/s ²

(1.3) 重要

このたびは、エボリューション万能切断機をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みください。使用上の注意事項、本機の性能、使用方法など十分にご理解のうえ、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

正常に動作しない場合、部品ご入用、その他取扱い上ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお買い上げの販売店または、直接当社までお問い合わせください。

WEB

www.evolutionpowertools.com/register

フリーコール： 0120-05-1415
受付時間 平日 9:00~18:00
(日・祝日、夏期休暇、年末年始を除く)

www.evolutionpowertools.com/jp/contact/

(1.4)

本製品にはメーカー保証が付いています。エボリューションパワーツールの迅速な保証サービスを確実にうけていただけるよう、お求めいただきました製品の保証登録を行ってください。オンライン登録およびお電話による登録については、製品に同梱されておりますA4 版別紙リーフレットをご覧ください。このリーフレットにはQRコードが掲載されています。読み取り機能のついたカメラつきケータイで撮影すれば、簡単に登録ページにアクセスすることができます。

メーカー保証

製品の仕様および外観は、改良のためお断りなく変更することがあります。メーカー保証適用の条件および登録方法については、別紙リーフレットをご参照ください。

(1.5)

エボリューションパワーツールは、ご購入いただきました製品に工場製造上の欠陥または材質の欠陥が認められた場合は、ご購入日より保証期間満了時まで、無償でその部品の交換または修理を行います。取扱説明書に従わない、不注意な操作や取扱いによる故障および損傷、ならびに必要なお手入れを怠ったことよって生じた故障および損傷は、保証の適用外とさせていただきます。また、使用上の誤り、または当社指定サービス業者以外による修理や改造、部品交換に起因する故障は、保証の適用外とさせていただきます。電気部品については、それぞれの製造元が提供する保証の対象となります。エボリューションパワーツールに修理・交換のために当社の製品をお送りいただくときには、当社が集配を手配いたします。当社は、同等の機能を有する新品または使用可能な再生部品と交換する権利を有します。

チップソー、ダイヤモンドホイール、ドリル、チゼル、ヘラなど消耗品である交換部品やアクセサリーは、書面または口頭においても保証は適用されません。当社は、いかなる場合においても、当社製品の使用もしくは他の原因によって直接または間接的に生じる損失または損害を賠償する責任を負いません。当社は、当該の商品もしくは派生的な損害に関わる費用に対して一切責任を負いません。当社の役員、従業員及び代理人はいずれも、適合性について口頭で意思表示を行う、もしくは前述の売買条件を撤回する権限を有せず、当社に拘束力を持たないものとします。

表示・図記号

警告： 銘板ラベルが読みにくくなったり剥がれている電動工具は使用しないでください。 交換用ラベルが必要な場合は、当社窓口までご連絡ください。

注) 取扱説明書または銘板ラベルには、一般的に下記の表示・図記号が使用されています。

シンボル	説明
V	電圧(ボルト)
a	電流(アンペア)
hz	周波数(ヘルツ)
min ⁻¹	回転速度
~	交流電流
n ₀	無負荷速度
	保護メガネを着用すること
	防音用保護具を着用すること
	防塵マスクを着用すること
	使用前に取扱い説明書を読むこと
	警告
	保護手袋を使用すること
CE	CE認証

(1.10) 本機の用途

警告： 本機は、高速切断機です。エボリューション純正刃物(専用チップソー)をお使いください。

専用ダイヤモンドホイール(別売)に刃を付け替えていただくと、タイル材・石材などの切断も行えます。

適用部材
軟鋼
アルミ

(1.11) 禁止用途

警告： 本機を、指定された用途以外に使用しないでください。本製品の改造や本説明書に記載されていない取扱いは絶対しないでください。

(1.13)

警告： この製品は、肉体的、感覚的、または精神的な能力が低下している方(お子様を含む)、もしくは、安全管理責任者による機器の使用に関して監督が行われないうり、経験や知識が不足している方による使用は意図されておりません。子供の手の届くところに本製品を置かないでください。

(1.14) 電気的安全性

本機には、販売される国内での使用に適合するプラグと電源コードが使われています。

電源コードやプラグの修理・交換は、お買い上げの販売店にご相談ください。

(1.15)

屋外で使用时のご注意

警告：電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。電動工具を湿気が多い場所に置かないでください。明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。湿った場所で電動工具を使用する場合は、定格感度電流 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) で保護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険が減少します。

屋外でのご使用には、用途に適した延長コードをご使用ください。

キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

(2.1)

電動工具全般

安全上のご注意

警告：ご使用前に、必ず全ての注意事項および操作方法をよく読み理解してください。火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。次に示す安全上の注意事項における「電動工具」という用語は、電源式（コード付き）電動工具または電池式（コードレス）電動工具を示します。

(2.2)

1. 一般安全規則[作業場]

a. 作業場は整理整頓して、十分な照明を確保してください。 散らかった暗い場所では事故を招く恐れがあります。

b. 爆発を誘発することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんのあるところでは、電動工具を使用しないでください。 電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させることがある火花を発生する場合があります。

c. 電動工具の使用中は、子どもおよび第三者を近づけないでください。 注意が散漫になって、操作に集中できなくなる場合があります。

(2.3)

2. 一般安全規則[電気的安全性]

a. 電動工具の電源プラグは、コンセントに合ったものを使用してください。 電源プラグを改造しないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。

b. パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地（アース）されたものと身体の接触をさけてください。 身体が接地された場合は、感電のリスクが増大します。

c. 電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。 電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。

d. コードを乱暴に扱わないでください。 電動工具を移動させたり、引っ張ったり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。コードは、熱、油、角のものがついたり、または動くものから離しておいてください。コードが損傷すると、感電のリスクが増大します。

e. 電動工具を屋外で使用するときは、屋外の使用に適した延長コードを使用してく

ださい。屋外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

f. 湿った場所で電動工具を使用する場合は、漏電遮断器 (RCD) で保護された電源を使用してください。 RCDを使用すると、感電の危険が減少します。

(2.4)

3. 一般安全規則 [人的安全性]

a. 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているのかに注意し、常識を働かせてください。 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは、電動工具を使用しないでください。一瞬の不注意が重大な人身事故につながります。

b. 安全保護具を使用してください。 常時、保護メガネを装着してください。適切な状態で防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメットまたは耳栓などの安全保護具を使用することで、人身事故が低減されます。

c. 不意な始動は避けてください。 電源プラグを差し込む前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。指をスイッチにかけて電動工具を運んだり、またはスイッチの位置がオンになっている電動工具のプラグを電源コンセントに差し込むと、事故を招くおそれがあります。

d. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチをはずしてください。 電動工具の回転部分にレンチまたはキーをつけたままにしておく、人身事故を招くおそれがあります。

e. 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場とバランスを維持してください。 これによって、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。

f. きちんとした服装で作業してください。 だぶだぶの衣服や装飾品は身につけないでください。髪、服および手袋を回転部に

近づけないでください。だぶだぶの服、装飾品または長髪は、回転部に巻き込まれる場合があります。

g. 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。 これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。

(2.5)

4. 一般安全規則

[電動工具の使用および手入れ]

a. 電動工具を無理に使用しないでください。 用途に合った正しい電動工具を使用してください。より安全かつ快適に作業ができます。

b. スイッチで始動および停止操作のできない場合、その電動工具は使用しないでください。 スイッチで制御できない電動工具は危険ですので、修理を依頼してください。

c. 調整を行う前、付属品を交換する前、または電動工具を保管する前には、電源プラグをコンセントからぬくか、電動工具からバッテリーをはずしてください。 このような予防的安全手段によって、電動工具を不意に始動させるリスクが低減されます。

d. 使用しない電動工具は、子どもの手の届かないところに保管し、電動工具に不慣れな人や取扱説明書を読んでいない人には電動工具を使用させないでください。 電動工具を扱っていない人に渡すと危険です。

e. 電動工具の保守・点検を行ってください。 電動工具の動作に影響のある可動部分の芯ずれや癒着、部品の破損およびその他の状態を点検してください。異常がある場合は、使用する前に修理を受けてください。電動工具の保守が不十分であることが、多くの事故の原因となります。

f. 刃物類は、鋭利かつ清潔に保ってください。 刃物類を適切に手入れして切れ味を

よくしておけば、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。

g. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具、刃物類などは、作業条件および実施する作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使用する電動工具に合うように使用してください。 意図された作業と異なることに電動工具を使用すると、危険を招く恐れがあります。

(2.6)

5. 一般安全規則

[整備]

a. 電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が適切な交換部品だけを用いて行ってください。 電動工具の安全性を維持することができます。

(2.7)

健康被害に関するご注意

警告： 本機を使う切断作業では粉塵がでます。切断する材料によっては、有害性の粉塵が発生することがあります。作業時には、集じん機の使用およびフィルタ交換可能なフェイスマスク着用をおすすめします。

家屋の壁面などに使われている塗料に鉛が含まれている懸念がある場合は、自分で剥がそうとせずに、専門家に依頼してください。塗料の粉じんが手や衣服に付着した場合に、誤って鉛成分が口から体内に入る恐れがあります。たとえ少量であっても神経障害の原因となることがあります。小さな子どもや胎児は特に影響を受けやすいので十分注意が必要です。

有毒な化学物質にさらされないようにするには

- ・十分に換気した作業場で作業してください。

- ・微細粒子を通さないように設計された防じんマスクなど、認定を受けた保護具を着用してください。

(2.8)

警告： 作業中は、切断片などの異物から眼を守るために、必ず保護メガネまたはフェイスシールドを使用してください。

(3.0)

本製品の使用上のご注意

(3.1)

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、高速切断機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

危険： ノコ刃や切断している周辺には手や顔を近づけないでください。切断作業は、一方の手はハンドルを、もう一方の手はモーターカバー部に置くなどして、両手で保持しながら操作してください。本機を両手で保持することで、ノコ刃で手を切る恐れが軽減されます。

b) 切断する材料の下には手を入れないでください。

材料の下は安全カバーで保護されないため、けがの原因になります。

c) 使用前に切り込み深さを材料にあわせて調整してください。 材料の下から刃底が見えないように（材料の下から刃先が見えるが、刃がすべてむき出しではない状態、3mm程度）調整してください。

d) 切断する材料は必ず安定性のよい台に固定してください。 材料を手で持ったり足で押さえたりしないでください。刃物への手足の露出や、材料に刃が挟まって強い反発力（キックバック）を防ぐには、材料を適切に固定することが大切です。

e) 絶縁されたハンドルだけを握ってください。 切断部分の近くに隠れた電気配線な

どがあるときは、刃が配線に接触しないように十分気をつけてください。作業中はノコ刃で電源コードを損傷することがないように、常にコードの位置に注意してください。本機の金属部に通電して感電する恐れがあり危険です。

f) 縦に切断（縦引き、縦切り）するときには、平行定規（リップフェンス）を使用してください。 精度が向上し、ノコ刃の噛むことが低減されます。

g) サイズ・取付け穴の形状が本機に合う指定専用ノコ刃を使用してください。 本機の取付金具に合わないノコ刃は、偏心（回転軸のぶれ）による制御不能を招く恐れがあります。

h) ノコ刃の取り付けは、指定の部品（指定のフランジ、ワッシャーやボルト）を用いて確実に取り付けてください。 損傷のない正しい部品は、本機の性能や安全を引き出すよう、最適に設計されています。

i) 高速鋼（HSS、ハイス）ノコ刃は使用しないでください。

j) 使用前に本機およびノコ刃の状態を点検してください。 変形、亀裂、磨耗、損傷箇所のあるノコ刃は使用しないでください。

k) 安全カバーが適切に閉じない、あるいは円滑に動かないマルノコは絶対に使用しないでください。 安全カバーを開けた位置で固定しないでください。

l) ノコ刃は本書指定範囲のノコ刃を使用して下さい。

ノコ刃は本機の最高回転数を満たす性能をもち、かつ切断する材料に適合したものを必ず使用して下さい。

(3.2)

キックバックの原因と対策

キックバックとは、ノコ刃が加工材料に噛んだり偏心したときに、突然ノコ刃が材料からはじかれて本機がせり上がり、作業者

に向かってくる現象をさします。

1. ノコ刃が、切断している材料の切り溝に挟まって動かなくなり、モーターの反動によって本機が作業者に向かって急激に押し返されます。

2. 切断中に、ノコ刃がひねられたり偏心する（回転が斜めにぶれる）と、ノコ刃後端の歯が材料の表面上部に食い込んで、ノコ刃が不意に切り溝が飛び出して作業者に向かってはね上がってきます。

h) 毎回使用前に、安全カバーが正常どおり閉じることを確認してください。 安全カバーが円滑に動かない、または瞬間に閉まらないときは、本機を使用しないでください。本機を誤って落としたり、ぶつけたときには、安全カバーに破損、変形などがなければ点検してください。使用前に切り込み深さ、傾斜角度を調整し、固定レバーを確実に締めてください。調整後に、刃に触れないように気をつけながら手で安全カバーを開け閉めして、安全カバーが本機部品の一部に接触することなく正常かつ円滑に動くことを確かめてください。

i) 安全カバーのパネの動きを点検してください。 もし安全カバーとパネが正しく動作しないときは、ご使用前に修理をお申し付けください。部品の損傷や粘着物、切りくずの体積などが原因で、安全カバーの動きが悪くなることがあります。

d) 安全カバーは、ブランチカットや複合切断など特定の切断を行うとき以外は、手で操作しないでください。 材料との位置関係で安全カバーが自動的に開かない場合だけ、安全カバーを開くレバーを使って最小限引き上げてください。

ノコ刃が材料に入ったらすぐにレバーを放してください。それ以外の作業では安全カバーを手動で操作しないことで、ノコ刃への接触の恐れを低減できます。

e) 丸ノコを作業台や床面などに置くとときには、ノコ刃が停止して安全カバーで覆われていることを確認してください。

スイッチを切った後もノコ刃は惰性でしばらく回り続けます。確認を怠ると、惰性で回転するむき出しの刃が丸ノコを動かす、本機は後ろに走り、途中にあるものすべてを切断する恐れがあります。

(3.4)

警告：本機の部品が損傷、不足している場合は、必ず修理・交換してから使用して下さい。整備や修理を怠った場合は、重傷を招く恐れがあります。

(3.3)

キックバックは、高速切断機を誤った手順や条件で使用した場合に発生します。以下は、キックバックによるリスクを最小限にするための注意事項です。

a) 使用時は本機を両手でしっかりと保持し、キックバック（反発力）に耐えるように腕を構えてください。 また、切断線と身体の位置が一直線にならないように左右とどちらかによけて位置してください。キックバックはマルノコが後方に跳ね返ってくる危険な現象ですが、作業者が注意事項を守ることで制御することができます。

b) ノコ刃が切り溝にはさまったり何らかの理由のノコ刃が止まった場合、スイッチを切ってノコ刃の回転が完全に停止するまで本機を動かさずに保持してください。 ノコ刃がまだ回転している間は、ノコ刃を切り溝からはずしたり、本機を後ろに引いたりしないでください。ノコ刃が動いている間に切断方向以外に本機を動かすと、キックバックが起こる恐れがあります。ノコ刃が完全に停止してから、ノコ刃がはさまった原因の確認と対処をしてください。

c) ノコ刃が材料の中にある状態から再始動するときには、ノコ刃が材料と噛みあっていないことを確認してください。 ノコ刃が噛みあっていると、本機を再始動したときにキックバックが occurs します。

d) 幅広材を切断するときは、材料が安定するように支持して固定することで、ノコ刃が挟まったり、キックバックが発生する危険性を抑えることができます。 面積の広い材料は自重でたわみやすいため、材料の両端と切断部分を支えることで、キックバック発生を防ぎます。

e) 切断前に、切り込深さ調整ボルトおよびノコ刃傾斜角度調整レバーが確実に締められていることを確認してください。 切断中にノコ刃にずれが生じると、ノコ刃が材料にはさまれ、キックバックを招きます。

f) 損傷や磨耗の激しいノコ刃は使用しないでください。 切れ味の悪い刃や確実に取り付けられていない刃をつかうと、切り口（切り溝）が狭くなり、摩擦でノコ刃が材料にはさまれ、キックバックを招きます。

g) 壁のように裏側がみえない箇所などにブランチカット（ノコ刃を押し下げながら板の途中から切断する方法）を行うときは、特に注意してください。 (FURY2に該当するかどうか) 裏側に突き出たノコ刃が、キックバックを招くものに触れる恐れがあります。

(4.1)

さあ、始めよう – 開梱

注意： 部品の中には尖った形状のものがあります。開梱時にはけがをしないようご注意ください。開梱後に部品数量を確認してください。付属品がすべてそろっていることを確認してください。商品に破損や異常がないことを点検してください。万一不足している物や損傷しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。梱包箱は捨てずに、メーカー

保証有効期間中は搬送時に備えて保管しておいてください。リサイクルを促進するため、開梱後の梱包・包装資材は分別処理してください。窒息の危険をさけるため、ビニール袋は子供の手の届かないところに置いてください。

(4.3)

別売部品・アクセサリーご案内

別売部品・アクセサリーの詳細につきましては、お買い上げの販売店もしくは当社窓口までお問い合わせください。当社Webサイト：www.evolutionpowertools.com

別売部品・アクセサリー

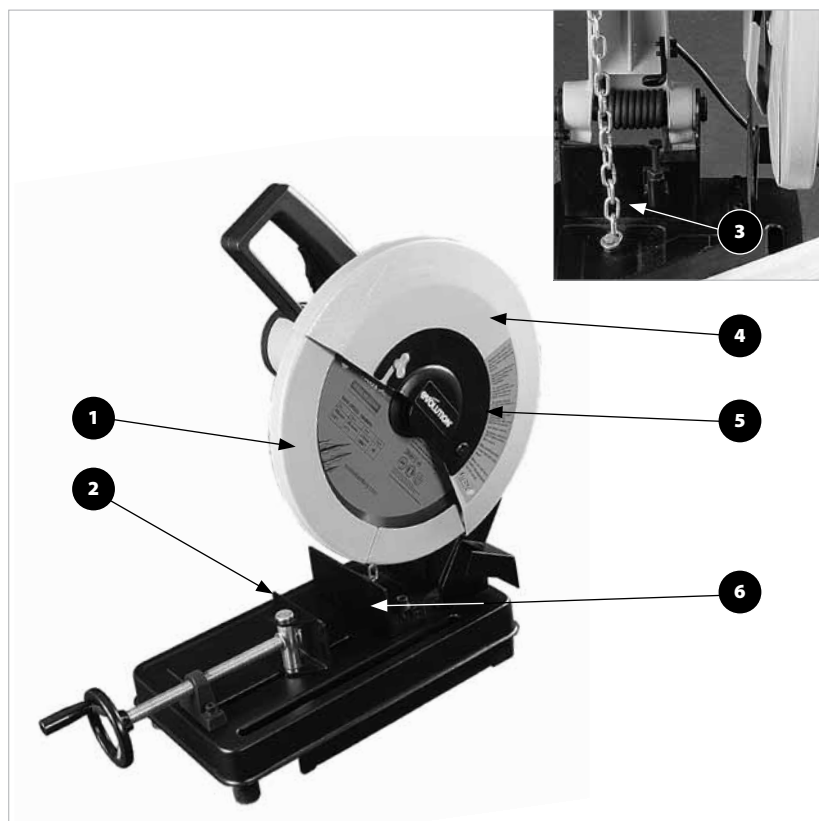
付属品	数量
355mm ダイヤモンドホイール	DIAMOND355

(4.4)

標準付属品

付属品	数量
取扱説明書	1
万能切断チップソー 六角レンチ 8mm (ノコ刃交換用)	1
カーボンブラシ セット	1

各部の名称 FURY2 355mm 万能切断機



1. 安全カバー
2. フロントバイスジョー (回転)
3. チェーン
4. ブレードガード
5. 軸ガード
6. リアバイスジョー (位置調整可)

さあ、はじめようー準備

警告： 調整作業を行う前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告： ノコ刃を交換したあとは、無負荷状態で数分回転させ、本機の振動やノコ刃の揺れなどの異常がないことを確認してください。試運転中はノコ刃から離れてください。万一、ノコ刃にヒビ、割れなどの異常があった場合に、欠けた刃が飛んで怪我を負う恐れがあります。

注記： 本機には、販売される国内での使用に適合するプラグと電源コードが使われています。電源コードやプラグを改造しないでください。

(<5.1)**ノコ刃の取り付け・取り外し**

警告： エボリューションパワーツール純正刃をご使用ください。ノコ刃の最高回転数が本機の無負荷回転数を上回っているか確認してください。指定以外のノコ刃を使用すると、本機の性能が十分にひきだせないだけでなく、事故やけがの原因になります。

警告： 万一の事故を防止するために、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

注) ノコ刃の取付け・取り外しを行うときは、保護手袋を着用してください。切断中に刃が熱くなっていることがありますので注意してください。(5.1>)

交換手順**ヘッド部の固定を解除する**

ヘッド部はチェーンで固定されています。この固定を解除すると、ヘッド部は自動的に上限まで上がります。

固定解除の手順は、以下の通りです。

- ・ ハンドルを少し上げます。
- ・ ヘッド固定ピンからチェーンを外すと固定が解除されます。 **(図9参照)**

ヘッドは上限まで上がります。

注) 本機を使用しないときは、ヘッド部を下限までさげ、チェーンで固定しておくことを推奨します。

《取り外し》

- ・ヘッド部の固定を解除し、上限位置まで上げます。
- ・蝶ネジをゆるめ、軸ガードを持ち上げて開いてください。 **(図2)**
- ・シャフトロックボタンを押し込み、軸が回転しないようにロックをかけます。 **(図3)**
- ・付属の六角レンチで中穴ネジをゆるめます。 **(図5)**

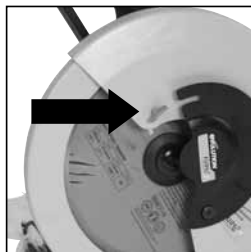
注) 中穴ネジは、右ネジです。右回り(時計回り)に回すと締まり、左回り(反時計回り)に回すとゆるみます。

- ・中穴ネジ、ワッシャー、アウターフランジを取り外します。部品を失くさないように気をつけてください。
- ・安全カバーを上げて、ブレードガードの中に格納します。 **(図3)**
- ・ノコ刃を外します。ノコ刃を外すとインナーフランジが見えますが、これは取り外さないでください。

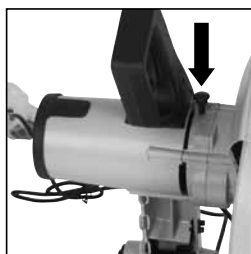
《取り付け》

- ・シャフト(軸)、フランジ、ワッシャーなどについている切り屑をきれいに取り除きます。
- ・取り付けは取り外しの逆の要領で行います。インナーフランジの上に新しいノコ刃を取り付けます。ノコ刃面に表示されている矢印がブレードカバー面の矢印と同じ向きであるように取り付けます。 **(図3)**
- ・アウターフランジ、ワッシャー、中穴ネジの順で戻します。
- ・軸が回転しないように、シャフトロックボタンを押し込みながら、六角レンチで中穴ネジを締めます。
- ・ノコ刃交換後は、軸ガードを戻し、蝶ネジで確実に固定してください。
- ・ノコ刃を手で回して、シャフトロックボタンが完全に解除されていることを確認します。
- ・六角レンチを外し、失くさないように保管しておきます。
- ・ハンドルを数回上下させて、安全カバーが円滑に動くことを確認します。

ポイント: ノコ刃交換時は、3分以上の試運転をしてください。試運転をせずに



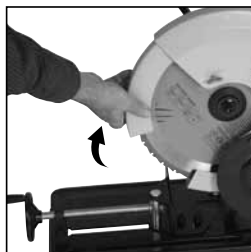
(図 1)



(図 2)



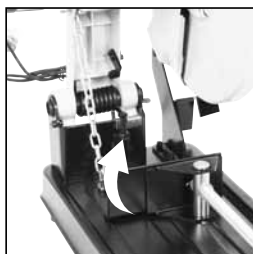
(図 3)



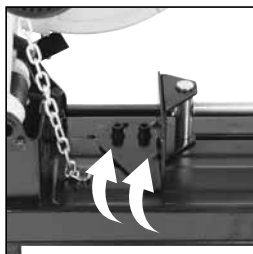
(図 4)



(図 5)



(図 6)



(図 7)

ヘッド部可動範囲

ヘッド部下限位置を調整する

ハンドルを下げたときに、ノコ刃が本体ベース部に接触することがないように、ヘッド部下限位置を調整することができます。

ハンドルを下限まで下げ、ノコ刃がベース部に触れることがないかどうか点検します。調整が必要なときは、次の手順に従ってください。

- ・ 下限位置ネジの止めナットをゆるめます。 **(図 6)**
- ・ 調整ネジを回して、下限位置を調整します。下限位置を上げるには、調整ネジを左（反時計回り）に回します。
- ・ 下限位置を下げるには、調整ネジを右（時計回り）に回します。
- ・ 調整ネジをまわして下限位置を正したのち、固定ナット

を締めつけて確実に固定します。

切断角度を調整する

注) リアバイスジョーは、角度を45度まで変えることができます。

工場出荷時は、リアバイスジョーは0度（ノコ刃に対して垂直）に設定されています。この位置では、ノコ刃は材料を直角に切断します。

リアバイスジョーの位置を変えて、切断角度を45度まで調整することができます。角度目盛（刻印）を目安にしてください。

リアバイスジョーの角度を調整するには

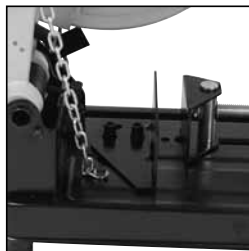
- ・ M10ボルト（2本）をゆるめます。 **(図 7)**
- ・ リアバイスジョーを希望の角度まで動かします。
- ・ 角度設定後、付属の六角レンチでM10ボルト（2本）を確実に締め付けてください。

リアバイスジョーの位置を変える

リアバイスジョーは、本体ベースから一旦取り外し、位置をずらして取り付けることができます。 **(図8)**

位置を変えるには

- ・ M10ボルトとワッシャーを取り外します。
- ・ 本体ベースには、リアバイスジョーを取り付けるためのネジ穴が3箇所ありますので、位置を前後に動かすことができます。
- ・ 位置を決めたら、M10ボルト (2本) を取り付けます。ワッシャーを正しく取り付けてください。



(図 8)

リアバイスジョーを手前から後方に動かすと、切断可能寸法が広がります。

(5.2)

操作方法

安全上のご注意

無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。万一キックバック (反発) が起こる場合に備えて、顔や身体が切断線と一直線にならないように身体を左右どちらかによけて構えてください。

警告： 切断の際は、材料をしっかりバイスで固定しないと、キックバックなどで思わぬ怪我をする危険があります。材料を手だけで押さえて作業することは厳禁です。

- ・ 材料をバイスで固定する前に、本体ベースに付いている切削粉やごみを拭き取ってください。
- ・ 1回の切り込みまたは切断が終わるごとに、切り落とした材料がノコ刃が進むライン上にあることを確認してください。ノコ刃と接触すると飛散することがあり、けがの原因になります。
- ・ 小さな材料の切断には、本機を使用しないでください。ノコ刃から15センチ以内まで手を近づけることになる程の寸法の材料は、けがの原因になります。

ASSEMBLY

- ・ アングル鋼を切断するときには、角（かど）を上にして置いて、バイスで確実に固定してください。面を下にしてL字状に置いて固定すると、材料が動き、切断精度が悪くなる場合があります。

(5.3)

切断作業

- ・ スイッチを入れ、フル回転になってから静かにノコ刃を切断材に当てて切断しはじめます。
- ・ 切り込む時、ハンドルに力を入れすぎても早く切れません。
- ・ 刃が材料に入ったら、適度に力を加えます。

注) 力を入れすぎるとモーターに負担をかけ効率も悪くなります。ノコ刃の寿命を縮める原因にもなります。

- ・ 刃が材料を突き抜けるところで、ハンドルを下に押す力をゆるめます。
- ・ 切断が終わったところで、ハンドルを持ち上げ、スイッチを切ります。
- ・ ノコ刃の回転が完全に停止し、安全カバーが戻って、安全にノコ刃を被ってからハンドルから手を放し、材料を外します。

(6.1)

注) 点検・整備を行うときは、スイッチを切り、差込プラグを電源コンセントから抜いてください。

各部取り付けネジでゆるんでいるところがないか、コードに損傷がないか、安全カバーは正常に機能するか、破損している部品はないか、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか、定期的に安全点検をしてください。何らかの異常がある状態のまま、本機を使用しないでください。

モーター軸受部には工場出荷時にグリースが適量塗られています。グリースを追加する必要はありません。

本機のお手入れは、乾いた布か石けん水をつけた布できれいに拭いてください。プラスチック部分を掃除するときに、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

警告： 本機のすき間に先の尖ったものを差し込んで汚れを取ろうとしないでください。定期的にブロア（圧縮空気）でモーター周辺（換気口）をきれいにしてください。

(6.2)

モーター部から余分な火花が発生するときは、モーター内が汚れているかカーボンブラシが摩耗していることが考えられます。



(図 9)

(6.3)

カーボンブラシの点検・交換

- ・ 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 本機を平らで安定した場所に置いてください。
- ・ カーボンブラシは、モーター部のブラシキャップ（2箇所）ゆるめて外すと、取り出せます。

注） カーボンブラシが残り6mm程度まで磨耗していたら、新しいカーボンブラシと交換してください。

- ・ カーボンブラシは2個1セットです。交換するときには指定のカーボンブラシを使用してください。
- ・ 左右両方とも同時に交換し、ブラシキャップを戻してください。
- ・ カーボンブラシを交換した後は、負荷をかけない状態で、数分間試運転を行ってください。

注） 状態を点検したときに、カーボンブラシの磨耗具合がまだ限界に達していない場合は、再び元の状態に戻して引き続き使用できます。カーボンブラシを交換するときや、一旦取り出して戻すときには、向きを間違えないように気をつけて取り付け、ホルダ内でカーボンブラシがスムーズに動くことを確認してください。

本機の移動/保管

本機には運搬、収納時に、ハンドル（ヘッド部）を最も低い位置にして、固定するためのチェーンがついています。

手順:

- ・ ハンドルを少し下げ、フックからチェーンを外すと固定が解除されます。
- ・ ハンドルを固定するときは、チェーンをフック (ピン) に引っ掛けてください。 **(図9)**

(6.4)**環境負荷軽減のために**

本機を廃棄する際は、家庭ごみとして捨てないでください。リサイクルについては、各自治体または販売店にお問い合わせください。

evOLUTION®

www.evolutionpowertools.com

UK

Evolution Power Tools Ltd
Venture One
Longacre Close
Holbrook Industrial Estate
Sheffield
S20 3FR

+44 (0)114 251 1022

US

Evolution Power Tools LLC
8363 Research Drive
Davenport
Iowa
52806

866-EVO-TOOL

JP

エボリューション
パワーツール株式会社
〒544-0031
大阪府大阪市生野区
鶴橋5丁目21-19

0120-051-415

EU

Evolution Power Tools Ltd
61 Avenue Lafontaine
33560
Carbon-Blanc
Bordeaux

+ 33 (0)5 57 30 61 89

Discover Evolution Power Tools

Visit: www.evolutionpowertools.com or download
the QR Reader App on your smart phone and scan
the QR code (Right).

